

長崎大学核兵器廃絶研究センターに期待します

被爆地長崎に「核兵器廃絶」と銘打った研究センターができたことを心から祝し、その活動に大いに期待いたします。

先月、ソウルで、オバマ大統領は2009年のプラハ演説を想起し、核兵器のない世界への約束を再確認しました。2010年のNPT再検討会議が一定の成果を収めたとはいえ、その後の核軍縮の歩みは遅々としたものであり、歯がゆさを禁じえません。プラハ演説の再確認は、その意味で有意義であったと思います。

核兵器廃絶に向かって被爆国日本が果たすべき役割は、強調しても強調しすぎることはありません。現在、核兵器の拡散が最も懸念されている地域が中東と日本を含む北東アジアであることを考えると尚更です。中東に関しては非核兵器・非大量破壊兵器地帯設立に関する政府間会議が日程に上っています。北東アジアに関しても、何かが始まるべき時です。

微力ではありますが、私が会長を務める超党派の核軍縮・不拡散議員連盟（PNND）日本も、貴センターとの連携を深め、今後、より活動を強めてまいりたい所存です。

貴大学、貴センターの発展を改めて祈念いたします。

2012年4月18日 PNND 日本会長 衆議院議員 河野太郎